



「学生字幕翻訳コンテスト」に参加してみませんか？

<http://democracynow.jp/contest>

世界各地の公共メディアで放送されている「デモクラシー・ナウ！」その日本語字幕制作に挑戦してみませんか？ ニューヨーク発の独立報道番組を通じて、市民の視点に立ったグローバルな真実を深く学び、発信につなげましょう。

「字幕翻訳」と言っても、さまざまなジャンルがあります。皆さんがよく知っているのは映画の字幕でしょうか。有名な字幕翻訳者はこの分野に多いですね。それに比べればニュース番組の字幕は地味ですが、いま世界で起きているリアルな出来事を追求する面白さと、その知識の伝達に自らも参加する手ごたえがあります。

インターネット経由でつながった世界では、情報の受け渡しが個人の手ゆだねられ、一人ひとりがメディアとして機能することになります。従来の商業マスメディアとはまったく違った情報伝達のあり方が模索されるなかで、能動的な個人がそこに参加する効果的な方法として、独立報道番組「デモクラシー・ナウ！」の字幕翻訳には大きな可能性があります。

メディア、国際情勢、政治経済、多文化共生、異文化コミュニケーション、翻訳・通訳など、幅広い分野を学ぶ皆さんからの多数の応募をお待ちしています。

スケジュール

受付開始: 2024年6月15日(土) 10:00

応募締め切り: 2024年11月23日(土・祝) 17:00 (時間厳守でお願いします)

審査結果発表: 2025年1月 課題ごとの最優秀作品をニュース映像にかぶせて公開します

応募方法 受付の後、応募要領と提出用字幕シートのご案内をします

<http://democracynow.jp/contest/form> (参加費無料)

主催: 「デモクラシー・ナウ！ 学生字幕翻訳コンテスト」実行委員会

ご不明の点は、メールでお問い合わせください contest#democracynow.jp (#を@に変えて送信)

◇学生字幕翻訳コンテスト 2024 課題ラインアップ◇

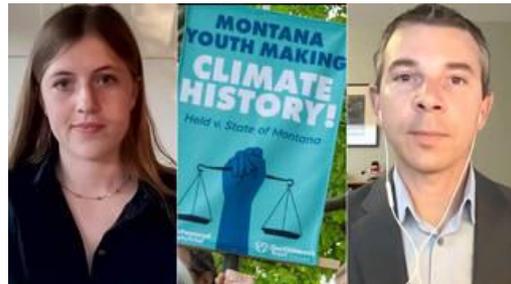
2024年度(第10回)は6つの課題動画を用意しました。現代社会の問題に深く切り込むトピックばかり。自分の関心に合わせて選べます。

課題1: 気候危機と若者

気候危機をめぐるモンタナ州を提訴した若者の声(7.5分)

<http://democracynow.jp/dailynews/23/06/29/4>

気候危機に対する恐怖と絶望は大人より子供のほうがずっと敏感なようです。年齢が下がるほど困難な未来に直面するのですから当然ですね。その原因をつくったのは、そうなるに分かっていながら有効な対策を怠ってきた大人たちなのに、深刻な被害を受けるのは子供たち。なんだかとてもアンフェアです。この責任はきちんと問わなければなりません。ということで米国のモンタナ州で若者を主役とした画期的な気候裁判が行われました。5歳から22歳までの16人の原告が訴えるのは、モンタナ州政府が化石燃料の使用を奨励し、環境を破壊し、住民の健康に深刻な影響を与える政策を推進したことが、自分たちの憲法上の権利を侵害しているということです。この番組が放送された後、原告の主張を認める判決が下されました。今後この種の裁判が各地に広がりそうです。 [日本語字幕つき参考動画: 酷暑の地球 今後50年の生活 マーク・ハーツガード](#) (YouTubeでも視聴可)



課題2: 学生の反乱

コロンビア大学のガザ連帯キャンプ 逮捕や停学のリスクを冒して続行(6.5分) <http://democracynow.jp/dailynews/24/04/18/3>

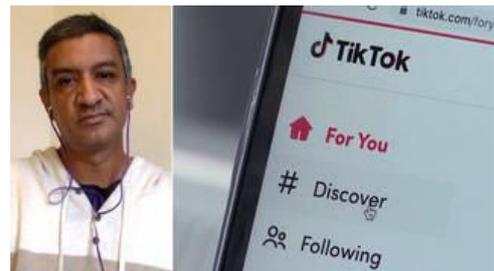
ガザで避難民虐殺が続く中、ニューヨーク市ではコロンビア大学のキャンパス内に「ガザ連帯キャンプ」が出現しました。さっそくデモクラシー・ナウのスタッフが現場取材にかけつけ、学生運動家にインタビューしたときの映像です。アラブ系、ユダヤ系の両方の学生たちがともに訴えるのは、大学当局に対しイスラエルの占領政策で利益を得ている企業や団体と手を切れということです。停学や懲戒処分脅しに抗して行動に出た学生たちは「弾圧はひどくなる一方」と訴えています。この後、運動は拡大し、ハミルトンホールの選挙と警官隊の導入という事件を経て、全国的な学生の運動へと発展しました。 [日本語字幕つき参考動画: 「ゴリアテ」イスラエル社会でレイシズムが加速](#) (YouTubeでも視聴可)



課題3: TikTok 禁止

反中感情に煽られた TikTok 弾圧はビッグ・テックの真の脅威を見落としている(10分) <http://democracynow.jp/dailynews/24/03/14/3>

米国ではショート動画投稿サービスの TikTok への弾圧が高まっています。中国の親会社 ByteDance に対し、株式を売却しなければ米国全土での使用を禁止するという法案が3月に可決され、4月には法律として成立してしまいました。この人気アプリを通じて中国政府が米国人の個人データを入手すれば、2024年の選挙に影響を及ぼしかねないという理由からですが、じつは若い人の間にパレスチナ人の権利を擁護したりイスラエルに批判的なコンテンツが広がるのを保守派が警戒しているからだともいわれています。カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)のラメシュ・スリニヴァサン教授は、この法律は TikTok と中国政府だけを取り上げて危険視しているが、個人データの流用と言論操作の危険はビッグ・テック全般に言えることだと指摘します。「必要なのは、すべての SNS 企業に適用される広範で包括的なデジタル著作権法をつくり、米国人が自分の個人データに対して権限を持てるようにすることです」 [日本語字幕つき参考動画: 監視資本主義の時代「グーグルで検索のつもりが、グーグルに検索されていた」](#) (YouTubeでも視聴可)



課題4: 中南米

ベネズエラ、キューバ、ニカラグアへの米国の「経済戦争」が移民危機に拍車をかけている(7.5分) <http://democracynow.jp/dailynews/23/10/25/4>

中南米からの亡命申請数が激増する米国の移民危機の現状について、共同司会者ファン・ゴンサレスは、その原因は米国の政策にあると指摘します。特にキューバ、ニカラグア、ベネズエラに対し米国が「経済戦争」を仕掛けているため、困窮した人々は危険を冒しても北へ向かわざるを得ないのです。「制裁の結果、これらの地域で人々が生きていく余地が縮小しているというのに、私たちは彼らが国境を越えてやってくるのを見て驚いているのです」 日本語字幕つき参考動画: チョムスキー: キャラバンは米国がつくり出した悲惨と恐怖から逃れてくる人々 (YouTube でも視聴可)



課題5: テクノ封建制

ヤニス・バルファキスによる新書の紹介とジュリアン・アサンジ解放について(7分) <http://democracynow.jp/dailynews/4/04/16/2>

ロンドンのベルマーシュ刑務所に収監中のウィキリークス創設者ジュリアン・アサンジを積極的に支援するヤニス・バルファキス元ギリシャ財務大臣は、米国がアサンジに対するスパイ容疑を取り下げるべきだと主張します。オーストラリア政府は最近ようやく自国民アサンジの釈放を求めて動き始めましたが、彼らが推進する司法取引は、釈放の代わりにアサンジに有罪を認めさせるものです。バルファキスは、「ジュリアンが有罪を認めることは決してないでしょう。それではまるでジャーナリズムが犯罪だということになってしまいますから」と言います。バルファキスはまた、新著『テクノ封建主義』についても語ります。その中で彼は、買い手と売り手が開かれた市場で活動するという市場経済の原則を、アマゾンのような巨大プラットフォームが破壊したと主張し、「資本主義は資本に殺されたのだ」と主張しています。 日本語字幕つき参考動画: サイファーバンクス ジュリアン・アサンジが語るネットの自由と未来 (後半) (YouTube でも視聴可)



課題6: アートと政治

映画「関心領域」プロデューサーが語るホロコースト、ガザ、私たちを隔てる壁 (10分) <http://democracynow.jp/dailynews/24/03/05/3>

第96回アカデミー賞の国際長編映画賞を受賞した『関心領域』は、実在したナチスの収容所所長ルドルフ・ヘスの一家をフィクションで描いています。アウシュビッツの絶滅収容所に隣接した屋敷でのどかに暮らす典型的なドイツの中流家庭の生活が淡々と描写され、多くの問いを投げかけます。プロデューサーのジェイムズ・ウィルソンは、この映画は「システム化された暴力、不正、抑圧が、私たちの生活から遮断されている」ことのメタファーであり、ヘス夫妻への共感を通じて、観客は共犯性を自覚させられると言います。 日本語字幕つき参考動画: 「ハンナ・アーレント」アイヒマン裁判取材したドイツ系ユダヤ人思想家の映画 (YouTube でも視聴可)



FAQ よくある質問

1. 「デモクラシー・ナウ！」って何？

ニューヨークから発信される独立報道番組です。月～金の毎朝 8 時から一時間、公共系のラジオとテレビで北米全域に放送されています。米国と世界の出来事を市民の視点から取りあげ、商業メディアとは一線を画した報道姿勢が高く評価され数々の賞を受賞しています。詳しくは、<http://democracynow.jp/about/democracynow> をご覧ください。

2. 応募資格は？

高等教育機関(短期大学、大学、大学院、高等専門学校など)に所属する学生が対象です。海外ニュースの字幕翻訳に興味があり、高校卒業程度の英語力と基本的なインターネット環境が必要です。

3. 字幕は初めてでも大丈夫？

字幕翻訳に関する最低限の基本ルールを指示しますので、事前の知識は問いません。エントリーすると字幕シート(ワードファイル)にアクセスできます。指定された審査用の字幕シートで提出しますので、字幕作成ソフトなどは不要です。課題にチャレンジしながら、同時に字幕翻訳のスキルも学びましょう。

4. グループでも応募できる？

個人でもグループでも OK です。グループの場合はグループ名とともに、代表者の氏名を筆頭にして、全員の氏名を書いてエントリーしてください(後から変更もできます)。個人情報コンテスト以外の目的では使用しません。

5. どうやって応募するの？

「デモクラシー・ナウ！ ジャパン」の「コンテスト」のフォームに必要事項を記入して、まずはエントリーしてください。エントリー受付の確認後に、応募要領と提出用字幕シートのご案内をします(Fax や郵送はしない)。

複数の課題に取り組むこともできますが、エントリーと応募(無料)は課題ごとに行ってください。

6. 応募作品の著作権は？

応募作品の著作権は、「デモクラシー・ナウ！ ジャパン」に帰属します。実際に字幕として公表する際には校正しますので、修正が入ることもあります。応募作品は返却しません。

7. 他にも質問があるのですが...

お問い合わせは contest#democracynow.jp まで(#を@に変えて送信)